

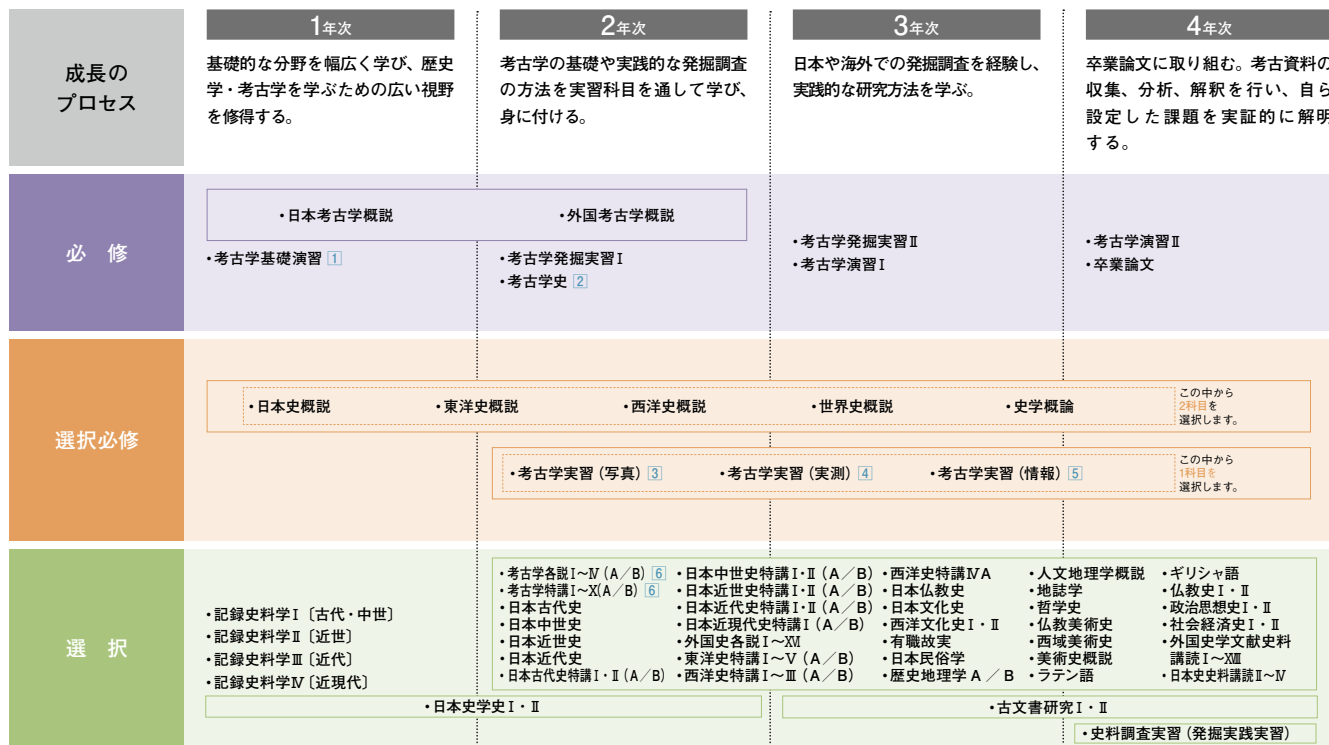
4年間の流れ

2024年度(予定)

卒業に必要な単位:124単位

専門教育科目:76単位
 全学共通科目:30単位
 広域選択:18単位

■必修:34単位
 ■選択必修:10単位
 ■選択:32単位



① 考古学基礎演習

考古学で求められる調査能力と伝える技術を修得します。遺跡や博物館、資料などから客観的な情報を引き出す方法を学び、博物館などを訪れてレポートを作成。個人発表も実施します。

② 考古学史

江戸時代に始まった日本の考古学研究を振り返ります。代表的な研究者を取り上げ、発見や研究方法を学びながら考古学史を概観。自身の研究テーマや研究方法を確立する一助とします。

③ 考古学実習(写真)

発掘現場で求められる写真撮影の知識や技術を身に付けます。一眼レフカメラの使い方を学び、屋外で練習。照明設備に応じた撮り分けや画像処理、暗室での現像などを学びます。

④ 考古学実習(実測)

実測(出土品を図に描き資料化すること)は、考古学の最も基本的な技術の一つです。実際に土器や石器に触れながら、遺物を詳細に観察する方法や図として表現する手法を学びます。

⑤ 考古学実習(情報)

考古学研究にはコンピュータの活用が欠かせません。情報の集め方をはじめ、Photoshop、Illustrator、GIS分析ソフトの使い方を覚え、図版・画像の加工や資料作成、地理解析を行います。

⑥ 考古学各説・考古学特講

旧石器時代から古代までの日本、中央アジアや南米など各時代、各地域の考古学研究や文化財保存の最前線で活躍する講師陣が、最新の研究成果と課題を分かりやすく講義します。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 春秋・戦国時代の三晋・燕国地域における貨幣の研究
- 縄文時代におけるヒスイ大珠の地域性
- 弥生時代中期の津波痕跡と集落動態

- 横穴墓の線刻画からみる古墳時代の喪葬観念
- 「関東郡代」伊奈氏の陣屋について—伊奈氏の事蹟を踏まえて—